## 安吾生誕祭113関連イベント

### デーモン閣下の邦楽維新Collaboration 妖気爛漫！坂口安吾

坂口安吾の「桜の森の満開の下」を、デーモン閣下の朗読＆歌唱と邦楽器を中心に洋楽器＆サンドアートがコラボレーションする斬新な公演です。（三橋貴風プロデュース）
日時：10月3日（木）19：00開演
場所：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館・劇場
出演：デーモン閣下（脚本・朗読・歌唱）ほか
料金：6,000円（全席指定）
問い合わせ：新潟市文化政策課　tel.025-226-2565

### 安吾のふるさとを歩く

（生誕祭実行委員会主催）

日時：10月5日（土）13:30～15:30
集合場所：「安吾 風の館」（新潟市中央区西大畑町5927-9）
案内人：坂口綱男（安吾 風の館 館長）
参加費：500円（ガイドホン代ほか、当日支払い）
定員：20名（先着順）
申し込み：電話で新潟市文化政策課（025-226-2563）に申し込む。
受付は9月4日午前9時開始。
（代表者の氏名、電話番号、人数は2名まで）

### 坂口綱男館長とゆく 安吾ゆかりの地めぐり

デーモン閣下の邦楽維新Collaboration チケット付

QRコードからも申込可能

日時：10月3日（木）～4日（金）
料金：16,000円から［入場券（邦楽維新Collaboration）、宿泊代（2名1室利用朝食付）、循環バス代、ガイドフォン代、添乗員経費（10／4のみ）］
問い合わせ：近畿日本ツーリスト関東新潟支店　tel.025-241-6161
申し込み締め切り：9月20日（金）

### 安吾フェス in 十日町

日時：10月19日（土）・20日（日）
会場：［19日］大棟山美術博物館（十日町市松之山）
［20日］十日町情報館（十日町市西本町２）
内容：コンサート、坂口綱男氏、手塚眞氏の講演ほか
参加費：無料（要事前申込み）
問い合わせ：十日町市教育委員会文化財課
tel.025-757-5531

## 生誕奉納芝居「真作 青鬼の褌を洗う女」公演　ご協賛のお願い

ご協賛のお願い

新潟市の生んだ作家坂口安吾を顕彰する「坂口安吾生誕祭113」が、「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」の特別連携事業として、10月9日に新潟縣護国神社境内（神楽殿および回廊）を会場に開催されます。会場近くの松林には多くの人々に親しまれている「ふるさとは語ることなし」の安吾詩碑があり、時代の変わり目の奉納芝居としては最高のロケーションであります。

まことに心苦しいのですが、入場券を完売してもなお公演に要する資金が不足しております。実行委員会として皆さまにお願いし、広く浄財を募ることといたしました。安吾ファンならずとも、各位におかれましては、なにとぞ本公演開催の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げる次第です。

2019年8月吉日　　坂口安吾生誕祭実行委員会　実行委員長・齋藤正行

**坂口安吾生誕祭113**　　**奉納芝居協賛金　目標額200万円**

□協賛金募集方法
**個人は1口 5,000円**（何口でもお受け致します）
**法人および団体は1口 10,000円**（何口でもお受け致します）
※個人で5千円以上、法人および団体で1万円以上お振込み頂いた方には、入場券1枚を進呈いたします。（金額に応じて順次枚数を増やします）

□銀行口座へのお振込み
振込口座　第四銀行新潟市役所出張所／普通口座 １１５４６２６
坂口安吾生誕祭実行委員会 会長 齋藤正行

□郵便振替でのお振込み
振替口座　００５９０―１―８７５９０
名称／坂口安吾生誕祭実行委員会
□振込手数料はご負担をお願い致します。

主催：坂口安吾生誕祭実行委員会
加盟団体：新潟市、新潟市芸術文化振興財団、安吾の会、松之山安吾の会、安吾全集を親しむ会、桐生安吾を語る会、東洋大学ＯＢ会、にいがた文化の記憶館、BSN新潟放送、新潟日報社
協力：新潟・市民映画館 シネ・ウインド　デザイン／Creative Land 晴れ日
特別協力：新潟縣護国神社
問い合わせ：坂口安吾生誕祭実行委員会事務局（新潟市文化政策課）　tel.025-226-2563　　https://www.angoplay.info
※第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会（特別）連携事業

photo image:坂口綱男

◆生誕奉納芝居「真作 青鬼の褌を洗う女」
原作／坂口安吾
構成・演出／梨本諦鳴
音楽／長嶌寛幸
出演／杉本彩
堀田眞三
櫻井淳子
大島葉子
堀川久子
小林へろ
ベガ山本
高橋凛
逢澤みちる
中川翔太

文化ふっとつ新潟！ Bunka Futtotsu NIIGATA

1906-2019 坂口安吾 ANGO SAKAGUCHI 生誕祭 113

# 真作 青鬼の褌を洗う女

風と光が醸し出す匂いの目撃者たれ

生誕奉納芝居

戦前戦後を奔放に、したたかに生き抜くサチ子―。
坂口安吾の原作を縦糸に、安吾作品に描かれる女性像とその言葉を横糸に、
人の世の生と死・聖と俗・光と影に迫る野心的なオリジナル作品が誕生しました。
過ぎ去った時代から、未来を生きる人々に捧げる
生誕奉納芝居「真作 青鬼の褌を洗う女」。

◆生誕奉納芝居「真作 青鬼の褌を洗う女」出演／

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 原作／ | 坂口安吾 | サチ子 | 杉本彩 | 田代 | 小林へろ |
| 構成・演出／ | 梨本諦鳴 | 久須美 | 堀田眞三 | 墨田川 | ベガ山本 |
| 音楽／ | 長嶌寛幸 | ノブ子 | 櫻井淳子 | 幸 | 高橋凛 |
| 照明／ | いとうゆういち | おんな | 大島葉子 | 登美子 | 逢澤みちる |
| 美術・衣装／ | Yocco | 母 | 堀川久子 | 三木 | 中川翔太　ほか |

1906-2019 坂口安吾 ANGO SAKAGUCHI 生誕祭 113

林忠彦 撮影

「真作 青鬼の褌を洗う女」は、坂口安吾が1947年に発表した同名小説をベースに、梨本諦鳴が脚本を書き下ろし、舞台化したオリジナル作品です。「戦争と一人の女」「私は海を抱きしめていたい」「桜の森の満開の下」など安吾作品に登場する女性像をモチーフに、軽やかにしたたかに生き抜くヒロインの姿を通して、恋情や嫉妬の奥底に潜む人間存在の「魂の孤独」に迫る作品です。没後64年を経てなお輝きを増す安吾の「普遍性」と「現代性」を、体感して頂けることでしょう。

## 坂口安吾
（さかぐちあんご）

1906（明治39）年10月20日、新潟市西大畑町に生まれる。旧制新潟中学から東京の豊山中学に編入学、小学校の代用教員を経て東洋大学印度哲学倫理学科卒。敗戦後の46年に「堕落論」を発表、「半年のうちに世相は変わった」というメッセージが廃墟に佇む人々に衝撃を与え、一躍脚光を浴びる。以後、太宰治、織田作之助らとともに無頼派の旗手として小説、評論、エッセイなど旺盛な創作活動を続ける。日本の伝統主義や権威の欺瞞性を批判する鋭い文明批評を展開し、戦後の文学や思想に大きな影響を与えた。55年2月17日、桐生市の自宅で脳出血のため48歳で死去。

主な作品に「日本文化私観」「白痴」「桜の森の満開の下」「不連続殺人事件」。日本の古代史や人々の暮らしを取材したルポ「安吾新日本地理」、「安吾新日本風土記」ほか。

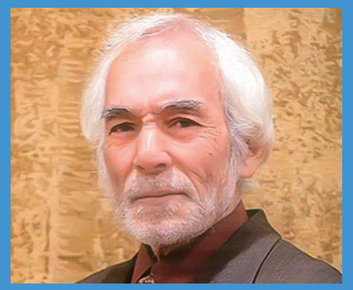
【原作のあらすじ】

主人公サチ子は常に退屈を感じ、かつその退屈を愛している。自身も妾である母は、サチ子も金持ちの妾にしようと目論むが、戦争が始まり、妾など認められない時代になってしまう。母はサチ子を品物のように大切にしていたが、サチ子は迷惑千万だと思っていた。そのうちに空襲で母が亡くなり、サチ子は勤めていた会社の専務久須美の妾になる。彼を愛する一方で、墨田川という相撲取りと浮気をするなど奔放に振る舞うサチ子。そんなサチ子のすべてを受け入れ許してくれる久須美。孤独な二人の魂は、それでもお互いを必要とし、寄り添って生きていくことを求めあうのだった。

## Profile

### 杉本彩
（すぎもと・あや）

15歳から京都でモデルの経験を積み、1987年東レ水着キャンペーンガールでデビュー。同年に映画「湘南爆走族」に出演し、88年にCD「Boys」で歌手デビュー。2004年公開の主演映画「花と蛇」で邦画界に衝撃を与えた。公益財団法人動物環境・福祉協会Evaの代表理事のほか、全国各地での講演や動物愛護法改正を検討する超党派議員連盟アドバイザーとしても活動している。



### 堀田眞三
（ほった・しんぞう）

1964年映画「くノ一化粧」に出演し、2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」、14年短編映画「余命1ヶ月のヤクザ」で主役を務める。ほかにも海外作品に積極的に参加し、18年1月PV「Mr.Children/here comes my love」に出演。19年には5月「最果てリストランテ」、9月13日公開「みとりし」の映画がある。趣味は散歩、ジョギング、読書。特技は殺陣、アクション、大阪弁、英語。

### 櫻井淳子（さくらい・あつこ）

1973年埼玉県出身。高校生の時にスカウトされ91年フジテレビのドラマ「葡萄が目にしみる」で女優デビュー。93年には出演ドラマが評価され、ゴールデンアロー賞最優秀新人賞受賞。以降映画、テレビドラマなどに多数出演。

### 大島葉子（おおしま・はこ）

カンヌ国際映画祭でコンペティション部門正式招待作品「朱花の月」（河瀬直美監督）で主演。映画を中心に活躍。「ヘヴンズストーリー」（瀬々敬久監督）「沈黙／サイレンス」（マーテイン・スコセッシ）など多数の映画に出演する。

### 堀川久子（ほりかわ・ひさこ）

1955年新潟市生まれ。78年に舞踊家、田中泯のワークショップを受け98年まで全活動を共に行う。同年より新潟市を拠点に独舞を中心に日本、ヨーロッパなどで活動。他ジャンルのアーティストと共演するほか、地域の盆踊りなどを踊り訪ねている。

### 小林へろ（こばやし・へろ）
1968年生まれ、新潟市出身

### ベガ山本（べが・やまもと）
1994年生まれ、熊本県出身

### 高橋凛（たかはし・りん）
1990年生まれ、新潟県出身

### 逢澤みちる（あいざわ・みちる）
1989年生まれ、埼玉県出身

### 中川翔太（なかがわ・しょうた）
1991年生まれ、東京都出身

構成・演出／梨本諦鳴（なしもと・たお）

新潟県燕市生まれ。映画監督、映像作家、日本映画監督協会会員。1991年に音楽プロモーションビデオの監督として映像作家デビューの後、映画、美術、写真、演劇など表現の枠にとらわれず、地域に根差した創作活動を続けている。主な監督作品に映画「アノソノアオ」「花火」（2020年公開予定）、PVでは純烈「言葉足らずのメロディー」、舞台「ル・ラシオン」「桜の森の満開の下」、Web広告「ITUWA Group 或る、いつ和の物語」（2018年度新潟広告賞）ほか。

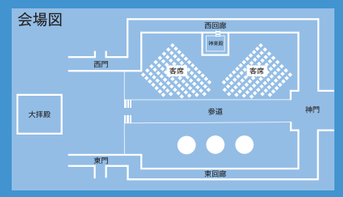
音楽／長嶌寛幸（ながしま・ひろゆき）

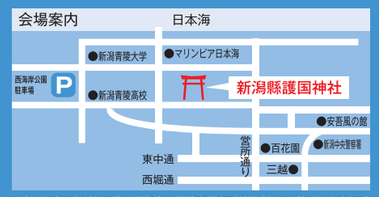
1966年京都府長岡京市生まれ。音楽家、サウンドデザイナー。主な映画作品に石井聰亙「エンジェル・ダスト」、大友克洋「メモリーズ エピソード3 ～大砲の街」、青山真治「サッド ヴァケイション」、万田邦敏「接吻」、高橋洋「霊的ボリシェヴィキ」、「平昌パラリンピック公式記録映画」など。また、電子音楽グループ「Dowser」としての活動も行っている。2014年より東京藝術大学大学院映像研究科教授。

10/9 wed

生誕奉納芝居「真作 青鬼の褌を洗う女」公演
日時：10月9日（水）｜昼の部｜13:30開演　13:00開場
｜夜の部｜18:00開演　17:30開場
会場：新潟縣護国神社境内（新潟市中央区西船見町5932-300）
※雨天決行（雨天の場合観覧席が変更となる場合があります）
料金：前売／4,000円　当日／4,500円　全席自由

■チケット販売
新潟県民会館
りゅーとぴあ
新潟日報メディアシップ１階
　インフォメーションセンター「えん」
新潟・市民映画館 シネ・ウインド




※当日お車でお越しの際は西海岸公園駐車場をご利用ください（午後10時まで）

STAFF：演出補／嬉野智裕　舞台監督／山口弘人　キャスティングディレクター／嶋田豪　音響／長谷川辰也
株式会社サウンドエイト／株式会社SunnyRain ／株式会社アイエス・フィールド／有限会社クオリティー